Measure what you see.

temp-gard / temp-chart

テンプ-ガード／テンプ-チャート

Short Instructions

簡易取扱説明書 日本語

A member of ALTANA

日本語

temp-gard 操作方法

Enter ボタン ↵	電源オン 機能選択 測定開始／停止
esc ボタン	前画面に戻る
上／下ボタン ▲ ▼	カーソルの移動
USB ポート 1	接続ケーブル転送用
USB ポート 2	USB メモリスティック転送用

メインメニュー

Start / Stop	測定の開始／停止
Temperature Profile	温度カーブの表示
Actual values	接続しているプローブの 温度表示
Setup	測定と装置パラメータの定義

セットアップメニュー

Measurement Parameters	プローブ本数の設定 測定開始トリガーの設定 測定間隔の設定 温度単位の設定（°C/ °F)
Instrument	ディスプレイ表示時間の設定 日時／時間の入力 言語の設定 情報（製造 No. - バージョン)

テンプ-ガード ロガーの簡易操作方法

- “Setup menu“ にて、測定と温度パラメータの定義を行う。
- “Enter“ メボタン” ↵ を押すことで測定が開始されます

ノート:
テンプ-ガードロガーの電源を入れると、設定状況が画面に表示されます。
スクリーン 1: Ch xx: プローブ名 Press OK ↵
スクリーン 2: プローブの本数 - 測定間隔 - トリガー

日本語

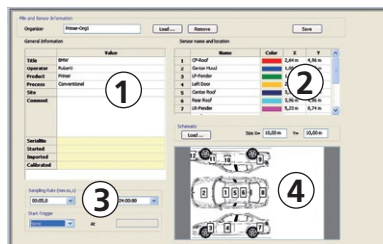
temp-chart ソフトウェアからの設定

オーガナイザーの作成方法

設定パラメータとプローブ名の定義

- "Objects" を選択

- オーガナイザーを選択

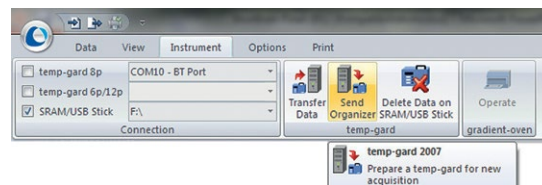
マウスを右クリックして、新しいオーガナイザーの作成を行います。
何も記載されていないテンプレートが表示されます
→ "Save As" ボタンを使用して、ファイルを保存します。

1: 顧客名、場所、コメント等の基本的な情報

2: プローブ名

3: サンプリング時間、トリガ継続時間等の測定パラメータ

4: 図表表示: bmp 又は jpgファイル
プローブの位置は、図表の左上からドラック&ドロップ出来ます

temp-gard ロガーへのオーガナイザー転送方法

- USB-スティックを PC に接続する（又はケーブルにて接続）
- "Instrument" メニューを選択
- "SRAM/USB Stick" を選択
- ドライブを選択
- "Send Organizer" を選択

- "Organizer" を選択

→ 確認し "OK" を押す

- temp-gard の電源を入れる
- "Main Menu" へ移動
- USB-スティックを temp-gard ロガーに接続する
- USB-スティックは自動的に認識されます
- "OK" を押して、 temp-gard ロガーにオーガナイザーを転送します

日本語

temp-chart へのデータ転送方法

- temp-gard ロガーの電源を入れます
- temp-gard ロガーに USB スティックを接続します

1. USB-スティックが空の場合

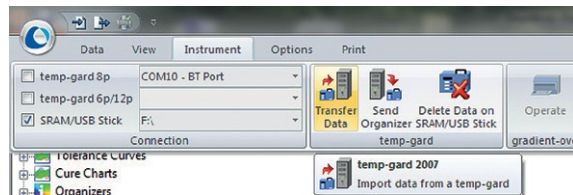
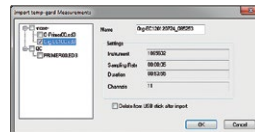
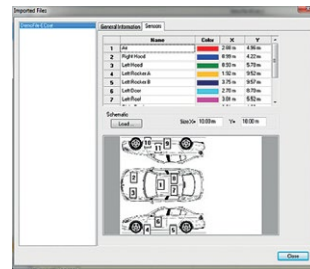
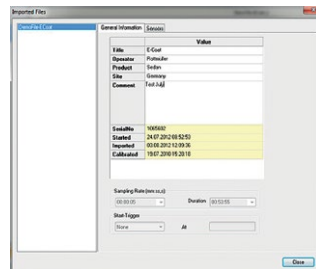
→ 測定データはUSBスティックに保存され、データはロガー内にも残されます

2. USB-スティック内にオーガナイザーファイルが存在する場合

→ "Configuration Files" 選択画面が現れます

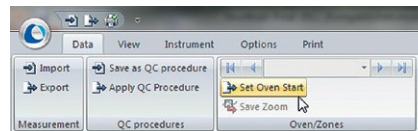
– No configuration → オーガナイザーと測定データは、そのままロガー内に残され、測定データはコピーされて USB-スティックへ転送されます

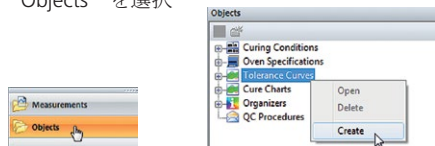
– Organizer xxx → 測定データとオーガナイザーは USB スティッスティックへ保存され、ロガー内は削除されます
→ 新しいオーガナイザーファイルがロガーに転送されます

- ロガーから USB スティックを外して、 PC に接続します
- Temp-chart の "Instrument" メニューを選択します
- "SRAM/USB Stick" を選択
- "Transfer Data" を選択

- 転送するファイルを選択 → オーガナイザー名がファイル名として表示されています(変更可能です)

"General Information" (インフォメーション)及び Sensors (センサー)の確認、編集を行って下さい

"Oven Start" の設定方法

- "Data menu" から

→ "Set Oven Start" を選択します
縦線がスタート点として固定されます.

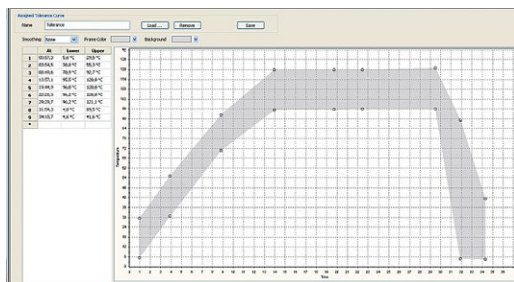
日本語

許容差カーブの設定方法

- “Objects” を選択

- “Tolerance Curves” を選択

右クリックし “create“ にて、新規に許容差カーブを作成します

→ 空欄の許容差カーブテンプレートが表示されます

→ “Save As” ボタンを押し、ファイル名を入力します

→ “tolerance settings“ を選択

- 保存します

オーブン仕様(温度条件)の設定方法

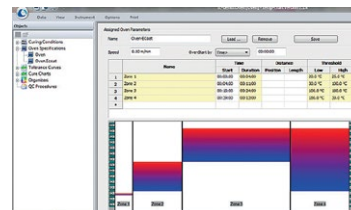
- “Objects” を選択

- “Oven Specifications” を選択

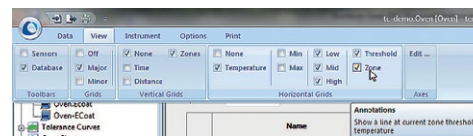
  右クリックし “create“ にて新規にオーブン仕様を作成します

→ 空欄のオーブン仕様テンプレートが表示されます

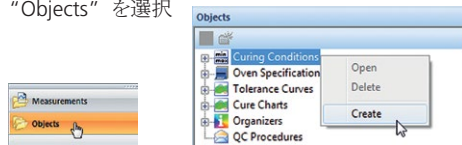
→ “Save As” ボタンを押し、ファイル名を入力します

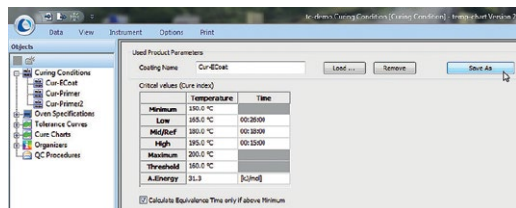
→ “Oven Specifications” を選択

- 保存します

“View menu” を選択するとオーブン仕様がグラフに表示されます

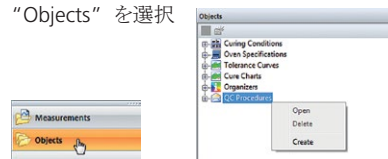
日本語

キュアリングコンディションの設定方法

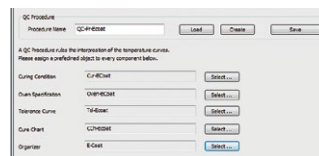
塗料メーカーは実際の炉に基づいて、条件温度／温度等の条件を推奨しています。

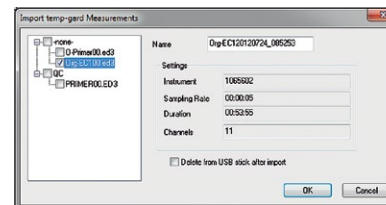
- “Objects” を選択

- “Curing Conditions” を選択
  右クリックして新規に “Curing Conditions” を作成します

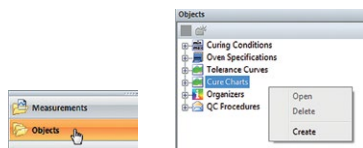
→ ブ空欄のキュアリングコンディションテンプレートが表示されます
→ “Save As” ボタンを押してファイル名を入力します
→ “Curing Conditions” を選択

- 保存します
  このキュアリングコンディションをベースとして、最適値及びキュアインデックスが計算されます

品質管理手順の設定方法

- “Objects” を選択

- “QC-Procedure” を選択

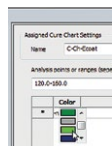
右クリックして新規に “QC-Procedure” を作成します
→ 空欄の品質管理手順テンプレートが表示されます
→ “Save As” ボタンを押してファイル名を入力します
→ “QC-Procedure” で手順する項目を選択して下さい

- “QC-Procedure” は、“Curing Conditions”（キュアリング条件）“Oven Settings”（オーブン設定）及び 測定カーブに対しての“Tolerance curve”（許容差カーブ）に分けられています

日本語

キュアチャートの作成方法

- “Objects“ を選択
- “Cure Chart“ を選択

- 右クリックして新規に ”cure chart“ を作成します

→ 空欄のキュアチャートが表示されます

→ “**Save As**“ ボタンを押してファイル名を入力します

→ 色を選択します(例:緑は合格ゾーン)

- 右クリックして、列を編集して下さい

→ 編集可能なキュアチャートエリアが現れます

- このエリアは様々な形に編集が可能です

→ 最適な継続時間と温度を入力します

→ ボックスの端をつかみます

→ コーナー記号を追加します

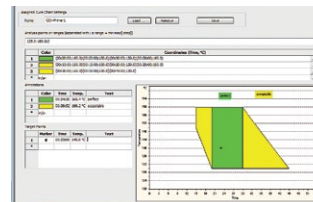
→ 初めの行を右クリックして
列の削除、又は追加を行います

- 追加のゾーンは別の色を選択し、座標を定義する事により作成されます

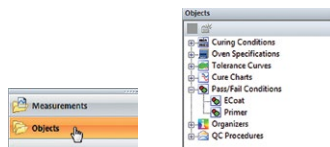
- キュアチャートは、以下のように作成されます

→ 全ての座標が表示されます

→ 解析された温度ステップは、関連された行に表示されます

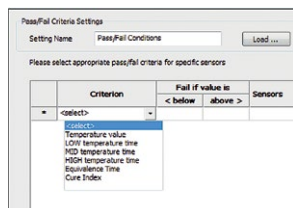
→ ターゲットポイントが定義されます

日本語

合否判定の設定方法

- “Objects“を選択
- “Pass Fail” を選択

- 右クリックして、新規に”Pass / Fail Conditions” を作成

→ 空欄の合否判定用テンプレートが表示されます。

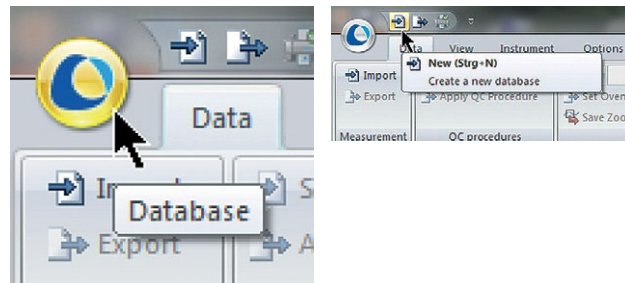
→ “**Save As**” ボタンを押して、ファイル名を入力します

→ “Criterion” を選択

→ 許容差を入力

合否判定結果は、以下のように表示されます:

- データベースの表にドットで表示されます
- 解析結果表の数値が、赤印変わります
- 合否結果表に表示されます

データベースの取扱い

- データベースを新規作成するか、編集するかにより、取扱いが異なります

編集機能

- “Data” を選択

→ “Edit” タブを選択

→ “Comment” は、データ転送後にコメントの入力が出来ます
これらは、コメント領域にプリントアウトされます

→ “Remark” は、注意を書き込む事が出来ます
チャート領域に追加 情報のためのテキストボックスが現れます

日本語

マルチ測定表示方法

オーバーレイ ➔ マルチ測定表示ー保存されません

- データベースから任意の測定を開きます

→ 測定カーブが表示されます

- データベース中の別のデータを右クリック

→ "Overlay" を選択

選択 1 と選択 2 の全ての解析結果が表示されます

解析は、選択 1 を基準にして行われます

マージ ➔ 複数測定の統合
– 新規ファイルが作成されます

- "Data" を選択 → "Measurement" → "Merge" を選択
  マージ複数測定ウィンドウが現れます

→ データセット、又は個々のセンサーを選択
  "Move up" 及び "Move down" 機能を使用して、解析する対象を選択する事が出来ます.

- "Merge" を使用して、複数の測定を統合します.

→ 選択された全ての測定が、解析リストに表示されます

→ 解析は最初に選択した測定を基準にして行われます.

- "Append" にて、測定を統合します

→ 解析は最初に選択した測定を基準にして行われます.

日本語

temp-gard テクニカルデータ

精度	±0.5 ℃
分解能	0.10 ℃ 0～400 ℃ にて 0.18 ℃ 32～752 °F にて
チャンネル数	6 又は 12
メモリ	2,000 測定／チャンネル
サンプリング インターバル	24 h まで 0.1 sec
温度レンジ	0～400 ℃（32～752 °F）
バッテリー寿命	0.5 sec インターバルで 50 h
ディスプレイ	79 × 60 mm (3.1 × 2.4 inch) カラー
インターフェイス	USB 2.0
サーモバリヤー	255 × 215 × 135 mm 10 × 8.5 × 5.3 inch
重量	3.56 kg (7.82 lbs)
継続時間	8.5 h - 100 ℃ にて 2.5 h - 200 ℃ にて 2.0 h - 250 ℃ にて

temp-chart ハードウェア推奨環境

PC	Pentium プロセッサ
インターフェイス	USB-port
メモリ	最小 256 MB RAM 推奨 512 MB
HDD 容量	最小 100 MB
ディスクドライブ	CD-ROM
モニタ分解能	XGA (1024 × 768) 以上
OS	Windows 2000 以降 Windows 7 未対応
Excel バージョン	2003 (VBA) 以降